

「海外に子ども用車椅子を送る会」を
支援してくださる皆様へ

2022年 3月号 vol. 26

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 25ヶ国

9,022台

2022年3月現在

あなたの
サポートを
求めています

世界の肢体不自由の子どもたちに動ける喜びを。



提供する

- 不要になった子ども用車椅子を首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平3-7-13 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円がかかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

海外に子ども用車椅子を送る会
拝島倉庫
福生市熊川73番地
(青梅線拝島駅より徒歩16分)

毎月第3日曜日
kaigaikurumaisu.org
詳細はHPで



ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>

発行元 / 海外に子ども用車椅子を送る会 東京都福生市加美平3-7-13 TEL042-553-2342

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会

活動
レポート
2022年3月 第26号



ガーナ パラリンピック選手団に 車椅子20台を贈呈しました

2021年11月「希望の車いす」の大人用車椅子と共同で発送

2021年8月に開催された東京オリンピック・パラリンピックの組織委員会メンバーである秋吉・ファビオ氏とガーナ・パラリンピックチーム事務総長 Peter Adjei氏(写真右)が東京大会で知り合いとなり「ガーナのパラリンピック・アスリートのために車椅子を贈ることはできないか。パラリンピック選手を目指している子どもたちにも車椅子を贈ることはできないだろうか」と考えました。「NPO法人希望の車いす」と当会にこの話が舞い込み、希望の車いすと当会の共同で大人用と子ども用の車椅子20台ずつを贈りました。



ガーナ Peter Adjei氏

Zoomを使用して、現地ガーナのパラリンピック事務総長Peter Adjei氏とアドアージイリ市(ガーナ東部の都市)の義肢装具訓練学校の校長先生であり、ガーナ・パラリンピック委員会の役員



右から2人目が本プロジェクトの発案者の秋吉・ファビオ氏

でもある Henry Larbi 氏が出席しました。また、日本側は、聖書キリスト教会東京教会に集まり、在日ガーナ大使館の Nana Kusi Magrabi 氏、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の秋吉・ファビオ氏、同委員会の小林氏、NPO法人希望の車いすの谷理事長、当会の森田会長、今回の会議室を提供してくれた聖書キリスト教会東京教会の尾山キャシー牧師、他の関係の皆さんが出席しました。森田会長は贈呈式の挨拶で、当会からの子ども用車椅子を受け取るガーナの皆さんには「子どもの体にしっかりと合った車椅子を供与して欲しい」「永く車椅子を使ってもらうためにガーナでのメンテナンスをしっかりとやって欲しい」とお願いをしました。今回のガーナへの贈呈で、当会が車椅子を送った国は25か国となりました。



マレーシア Aleps Dream Factoryに車椅子95台を送りました

2022年2月 小型を中心とした車椅子と中古の自転車2台を発送

未整備のマレーシア向け95台の車椅子と2台の中古自転車を積載した本船が、2月27日に東京港を出ました。マレーシアのポートケラン港には3月中旬に到着する見込みです。これで同国に送った車椅子の総台数は1,608台となります。



マレーシアには、2021年8月に送った未整備の車椅子90台に続いての発送です。今回は受け取り手であるサイド氏からの要望で、バギータイプを中心にできるだけコンパクトに折りたためる車椅子を送りました。マレーシアも車社会になっていますが、普及している車は小型車が中心なので手軽に折りたたんで運ぶことができる車椅子に人気があるとのこと。また、車椅子の配布も、必要とする子どもの家族が自分で引き取りに来られるのでサイド氏の配布の労力が大きく軽減されるのです。今回は、車椅子に加えてサイド氏の要望で中古の自転車を2台送りました。サイド氏は、自転車に車椅子を接続してリヤカーのような形を使うことを考えているとのこと。現地の子どもの実情に合わせて支援をしているサイド氏だからこそその発想かもしれません。



パラグアイ アスンシオン・ビラモラ・ライオンズクラブに 車椅子90台を送りました

2022年3月 整備済み車椅子と子ども用日用品を発送

2022年3月1日、寒さが和らいだこの日に当会の活動である車椅子のコンテナ積み作業にパラグアイのラウル・アルベルト・フロレンティン・アントラ駐日パラグアイ特命全権大使が立ち会って下さいました。また、このパラグアイ・プロジェクトを支えてくれている昭島中央ロータリークラブの皆さんもコンテナ積み作業に集まって下さいました。今回の車椅子の清掃・整備作業はコロナ禍のために1年半という長い時間がかかり、更に海上輸送の混乱も加わって当初の予定より大幅に遅れての出港となりました。今回の送付先は、パラグアイでの新たな受け取り手となるアスンシオン・ビラモラ・ライオンズクラブで、小児科、眼科など様々な医療機関や移動クリニックを運営しているグループです。5月初旬には到着の見込みです。大使から「いつもパラグアイに貴重な車椅子を送ってくれて有難う」とお礼の言葉をいただきました。なお、パラグアイへの海上輸送は、当会を継続的に支援してくれている Ocean Network Express Pte. Ltd. (ONE社)が無償で提供してくれています。また、同社はパラグアイの子どもたちに喜ばれる日用品も送りたいと毛糸の手袋や文房具を提供して下さいました。御礼を申し上げます。



車椅子を積込んだコンテナにパラグアイ国旗などを掲げて記念撮影です。



一緒にコンテナに積込んだ手袋や文房具

上記贈呈に当たって車椅子の提供をしてくださった学校です(他に個人からの提供もあります)

埼玉県立宮代特別支援学校
東京都立多摩桜の丘学園
東京都立青峰学園
東京都立城南特別支援学校
東京都立町田の丘学園

神奈川県立平塚養護学校
さいたま市立さくら草特別支援学校
横浜市立上菅田特別支援学校
あきる野市社会福祉協議会
横浜市立若葉台特別支援学校

東京都立八王子東特別支援学校
東京都立府中けやきの森学園
緑成会保育園 通所センター
千葉県立桜が丘特別支援学校
板橋むらさき保育園

さいたま市立ひまわり特別支援学校
東京都立鹿本学園特別支援学校
千葉県立松戸特別支援学校
横浜市立北綱島特別支援学校
他の特別支援学校 (順不同)

当会の詳しい活動内容はHPで <http://kaigaikurumaisu.org>